

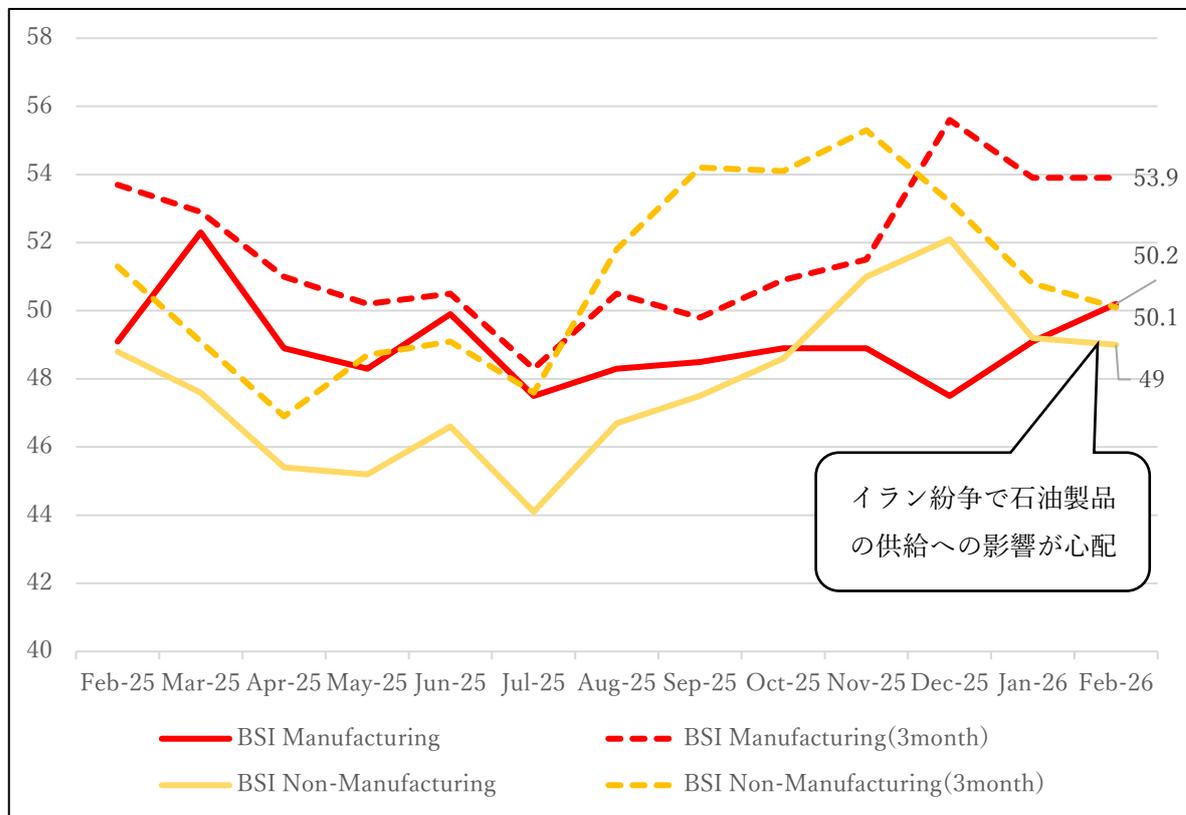
# タイ経済指標斜め読み

(2026年3月版)

ビジネスサポート部  
加藤義人  
kato@mat.co.th

## ■No. 1 ■【指数データ】景況感指数

タイ中央銀行 (BOT) は、2月の景況感指数 (BSI) を発表した。下グラフは、BSIの構成要素である製造業と非製造業BSIとなる。(50 = 前月から変化なし)

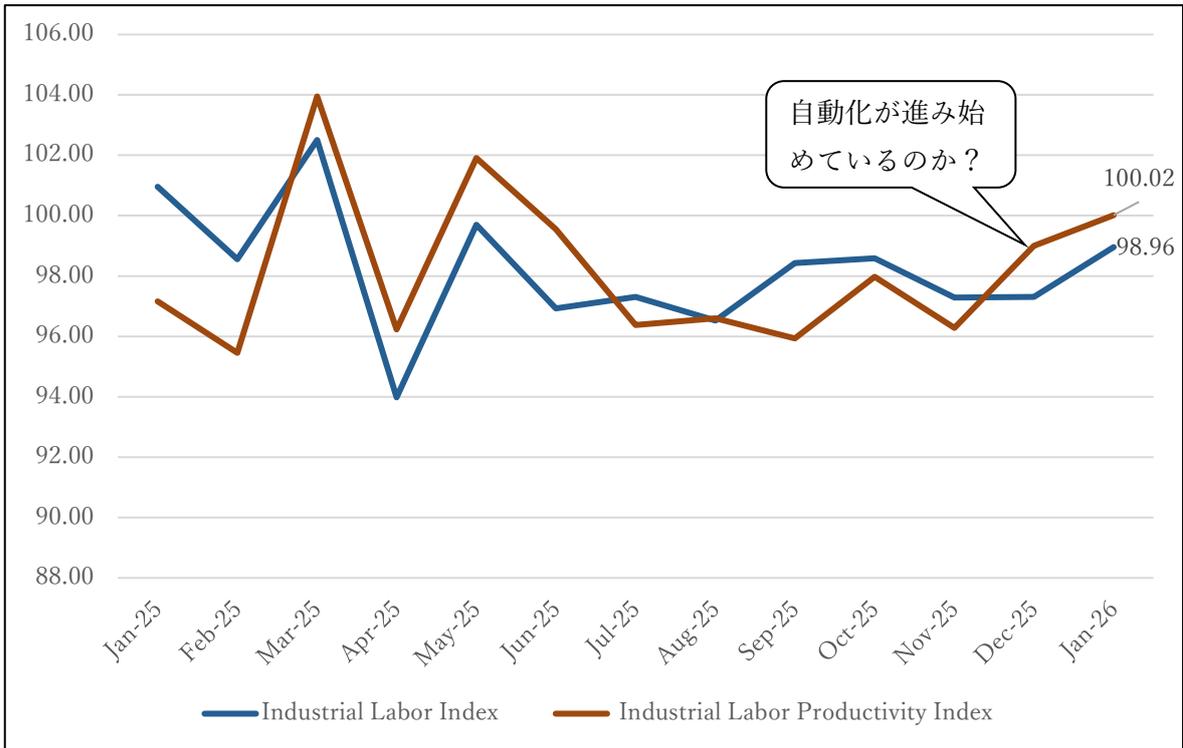


2月の製造業BSIは50.1、同3カ月月後の期待値は53.9、非製造業BSIは49、同3カ月後の期待値は50.1となった。製造業は改善し、非製造業は悪化した。要因として、米国向けの製鉄の需要が増加していることやHDDや半導体の需要が国内外で増加していることが挙げられた。一方、非製造業では観光シーズンが終わることで、観光関連事業の収益低下が予想されている。

出所：<https://www.bot.or.th/>

## ■No. 2 ■【指数データ】生産指数

タイ労働省工業経済局（OIE）は、1月の労働指数並びに労働生産指数を発表した。  
（基準年：2021=100）



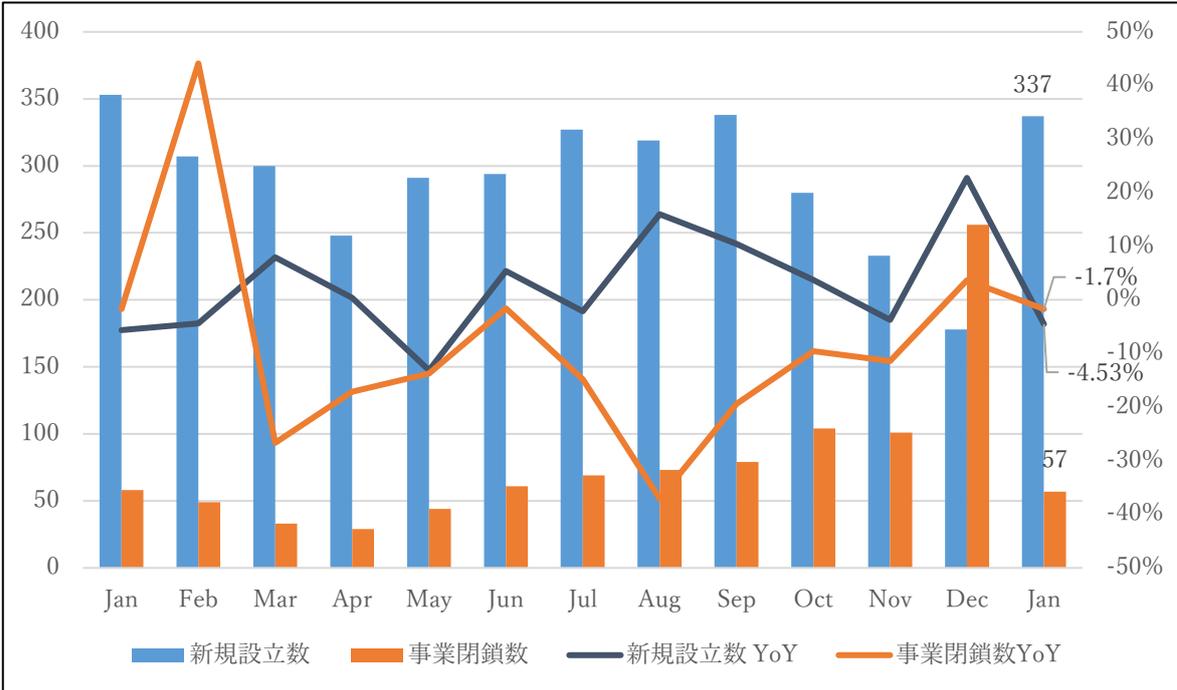
- 労働指数：「どれだけ労働が投入されているか」を示す。
- 労働生産性指数：「労働1人あたり」「労働時間1時間あたり」の産出を示す。

1月の労働指数は98.96、労働生産性指数は100.02となった。労働指数は依然基準年の2021年を超えてはいないが、労働生産性指数が100を超えるのは実に8カ月ぶりとなった。この2つの指数が示すことは、労働力は増加しなくても生産性は増加しているということ。昨年12月からその傾向が始まっており、AIやロボット化が進み自動化が促進されていると言えるのだろうか。以前のように、労働指数が上昇すれば労働生産指数も自動的に上昇するような傾向は今年から見られなくなる変化の年になると予想される。

出所：<https://www.oie.go.th/>

### ■No. 3 ■【統計データ】物流事業者数

タイ政府貿易政策戦略局 (Trade Policy and Strategy Office) は、1月の物流事業者数を発表した。



1月の新規物流事業者数は337件、前年同月比-4.53%、同閉鎖数は57件、前年同月比-1.7%になった。同月は例年と同様に新規参入が増える月ではあるが、勢いは若干落ちている一方、閉鎖は若干増加となっている。全体的には新規は増加で閉鎖は減少傾向にあることが見て取れる。物流と旅客輸送は、国内の景気低迷に依らず、増加を続けており、要因として、ShopeeやLazadaなどのネット販売は好調で、それらの荷物を運搬する事業者は増える傾向にあると思われる。また、これらの業態は、設備投資も少なく容易に始めることが出来る業態でもある。

出所：<https://www.tpso.go.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2026 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。